

常に“良品”を生産し、信頼に応える 社員一同で時代のニーズに合わせた企業を創造

新社名でイメージ一新
時代の変化に合わせ、
柔軟に可能性を広げたい



代表取締役社長 上野 定之

株式会社 TAKASE
〒012-0801
湯沢市岩崎字壇ノ上8-8
TEL:0183-79-5515
<https://www.tks1989.com/>



HP



高いクオリティーを保つための企業努力

湯沢工業団地内に社屋を構える株式会社TAKASE。株式会社電設の100%子会社として1989年に設立され、昨年で設立35周年。主に電力会社が使用する制御盤の筐体を作るための板金加工および金属焼付塗装を行っている会社だ。設立当初は精密板金加工のみを専門としていたが、顧客からのオーダーに柔軟に対応することを目指し、2004年ころから金属焼付塗装部門を開設。品質の高さとスピーディーな対応で多くの顧客から信頼を勝ち得ている。そのため新規の案件は、既存の顧客からの紹介で獲得することもある。また、活性化センターが主催する各種主催事業にも積極的に参加している。通常、板金業界では量産系の対応をする企業が多いが、当社では非量産型の受注を専門としている。顧客からは「とにかく良品を」という要望が多い。そこで高いレベルで顧客のオーダーに応えるため、厳しい出荷基準を設けて徹底した品質管理を行っている。

次世代を担う若手たちが新たな社名を検討

創業以来の高瀬電設という社名を、今年から「TAKASE」に変更。上野定之社長は息子で執行役員を務める佑太さんと専務の安倍さんに、そのプロジェクトを一任した。プロジェクトは20～40代、男女比率や年代を考慮した8名で進めていった。全社員の意見を吸い上げるため、アンケートを実施したほか、少人数での座談会を開催。長年周知されている「高瀬」という名前を残したいという意見もあり、アルファベットで「TAKASE」という社名に決定した。経営理念の解釈文を新たに明記し、そこから新たなコーポレートロゴを作り出した。

社名変更から半年経ち、採用に変化があったという。昨年までは新卒の応募が無かったが、今年は高校生3名と大学生1名から応募があった。全社員が関わった新社名の考案は「なぜ働くのか、どんな会社で働きたいか」という問いかけになり、思いを新たにできる機会となる。思いを明文化する作業で意識が変わり、採用活動にも良い影響が生まれたのかもしれない。



精密板金製造を行う工場内にて、
専用機械を操作し、金属加工を行う様子。



制御盤の組み立て作業を行う若手社員。
今回のプロジェクトにも参加している。



厳しい基準を設け、品質管理を徹底。
良いものを迅速に届けたいという思いが至るところに感じられる。